

第4章 教育活動

4-1 教育活動重点項目への取組みとその結果

(1) 資格取得目標と結果

[全学科共通]

資 格 名		合格者数
日本語ワープロ検定	1 級	2
	準1 級	3
	2 級	9
	準2 級	14
	3 級	21
情報処理技能検定（表計算）	1 級	2
	準1 級	5
	2 級	12
	準2 級	10
	3 級	3

[建築系]

資 格 名		合格者数
二級建築士		18
2 級建築施工管理技術検定		18
インテリアコーディネーター		3
リフォームスタイリスト	1 級	1
	3 級	6
リビングスタイリスト	3 級	1
福祉住環境コーディネーター	3 級	4

[機械系]

資 格 名		合格者数
技能検定・機械加工 2 級	普通旋盤作業	1
技能検定 機械加工 3 級	普通旋盤作業	10
	数値制御旋盤作業	4
	マシニングセンタ作業	3
技能検定 機械・プラント製図 3 級	機械製図 CAD 作業	2

[電気系]

資 格 名		合格者数
電気工事士	第一種	19
	第二種	35
電気工事施工管理技術検定	2 級	5
電気主任技術者	第三種	8

[土木系]

資 格 名		合格者数
測量士補		1
土木施工管理技術検定（第一次）	1 級	3
	2 級	14

ビオトープ施工管理士	2 級	3
無人航空従事者	3 級	7
基礎技能（ドローン操縦士）		10
応用技能	目視外	10

[情報系]

資 格 名		合格者数
情報処理技術者試験	基本情報技術者	9
情報システム試験（J 検）	基本スキル	20
ビジネス能力認定試験（ジョブパス）	3 級	25
日商簿記検定	初級	4

[音響・映像系]

資 格 名		合格者数
映像音響処理技術者資格認定試験		19
舞台機構調整技能検定	3 級	6

(2) インターンシップの参加状況

学科・系	会 社 名	業 種	人数
機 械 5 人	タカオ株式会社	製 造 業	4
	株式会社長曾鉄工所	製 造 業	1
電 気 51 人	高陽電気(株)	建 設 業	1
	島根電工(株)	建 設 業	1
	大亜工業(株)	建 設 業	2
	中国開発計装(株)	建 設 業	1
	中国計器工業(株)	電 気 機 械 器 具 製 造 業	2
	(株)中電工	建 設 業	6
	(株)電力サポート中国	建 設 業	5
	日海通信工業(株)	建 設 業	1
	広島ガステクノサービス(株)	建 設 業	1
	満長建設(株)	建 設 業	3
	三菱電機プラントエンジニアリング	建 設 業	4
	(一財) 中国電気保安協会	電 気 設 備 保 安 業 務	6
	アラインテック(株)	製 造 業	1
	山陽空調工業(株)	建 設 業	1
	パナソニック(株)	製 造 業	3
	(一財) 関東電気保安協会	電 気 設 備 保 安 業 務	2
	NTT アノードエナジー(株)	建 設 業	2
	(株)下花建設	建 設 業	5
	(株)新星工業	製 造 業	1
	(株)アイ・ビー・エス	製 造 業	1
	(株)三谷機工	製 造 業	1
	(株)キーエンス	製 造 業	1
情 報 2 人	株式会社アルファシステムズ	シ ス テ ム 開 発	1
	株式会社プロビズモ	シ ス テ ム 開 発	1
土 木	株式会社鴻治組	建 設 業	3

19 人	合田産業株式会社	土 木 材 料	4
	大之木建設株式会社	建 設 業	2
	シンクコンサルタント株式会社	建 設 業	2
	肥海建設株式会社	建 設 業	1
	大畑建設株式会社	建 設 業	1
	松江土建株式会社	建 設 業	2
	下花建設株式会社	建 設 業	3
	(株)スガノ	建 設 業	1
建 築 26 人	(株)オールハウス	建 設 業	1
	(株)イワキ	建 設 業	1
	(株)池下設計	建 設 業	1
	(株)下岸建設	建 設 業	1
	(株)永本建設	建 設 業	1
	(株)三和建設	建 設 業	1
	(株)西部建設	建 設 業	1
	(株)ティーエスハマモト	建 設 業	1
	(株)ホウエイ設備	建 設 業	1
	大之木建設(株)	建 設 業	1
	(株)YKKAP	建 設 業	1
	(株)金見工務店	建 設 業	1
	(株)久保組	建 設 業	1
	(株)アイデザインホーム	建 設 業	1
	(株)カドスコーポレーション	建 設 業	1
	(株)積水ハウス建設	建 設 業	1
	(株)中電工	建 設 業	1
	(株)岩田地崎	建 設 業	1
	(株)タマホーム	建 設 業	1
	(株)大東建託	建 設 業	1
	(株)三和建設	建 設 業	1
	(株)ネストハウス	建 設 業	1
	(株)マエダハウジング	建 設 業	1
	(株)セキスイハイム	建 設 業	1
	(株)オンテックス	建 設 業	1
	(株)アドグリーン	建 設 業	1
音響・映像 メディア 10 人	(株) オーアンド・オー	音 響 ・ 照 明	1
	(有) ビジュアルオフィス善	映 像	1
	(有) 中国映像センター	映 像	1
	ニイダ (株)	写 真 ・ 映 像	1
	(株) サウンドシーク	音 響 ・ 映 像 ・ 照 明	1
	TSS プロダクション	映 像	3
	(株)SHINOMOTO-SE	音 響 ・ 照 明	1
	(株) XYZ	映 像	1
合 計			113

4-2 人間力を高める各種行事の取組み

(1) 令和6年度オリゼミ

1) 概 要

① 目 的

- ・学校生活のルールを徹底する。
- ・学校の学習目的と内容について理解を深める。
- ・学生と教員の交流を行い、コミュニケーションのとれる人間関係をつくる。
- ・学生同士の交流を行い、理解を深め、真の友人をつくる。

② 日 程・場 所：広島工業大学専門学校・広島工業大学沼田校舎

学 科	日 程	開 始	場 所	人数
全 学 科	4月5日(金)	9:00	専門学校	168
建 築・機 械・土 木	4月8日(月)	9:00	沼田校舎	76
情報系・電気・音響映像	4月9日(火)	9:00	沼田校舎	90

③ 参加教職員・参加学生数・欠席人数(新入生)

系・学科	参加学生数	指導学生	欠席人数 (新入生)
電 気	31	2	0
機 械	11	2	0
建 築	51	4	1
音響・映像	25	4	0
土 木	16	2	1
IT・情報	28	2	3

2) 成 果

- ① 入学早期に建学の精神、教育方針の確認を行うことにより、今後の学習意欲の向上につながった。
- ② 学科での特色や目標資格などの詳細を学科別のオリエンテーションで実施することにより、学校生活における目的意識を確認することができた。
- ③ 学生同士のコミュニケーションの構築や友達づくりの場として、去年と同様に二日目に沼田校舎を活用することにより、より効果的となった。

3) 次年度の課題

- ①最終人数(留年・復学も含む)が最後まで変動するので、沼田校舎との連絡を確実に行う。

(2) 令和6年度 体育祭

1) 概 要

- ① 目 的：日頃、勉学や就職活動などで多忙な学生達が思う存分に体を動かし、楽しみ、心身ともにリフレッシュし、学校生活をより充実させることを目的とする。
- ② 日 時：令和6年6月7日(金) 9:20~15:00
- ③ 場 所：広島県立総合体育館 大アリーナ(広島グリーンアリーナ)
- ④ 天 候：晴れ
- ⑤ 出席率：82.6%(前回令和5年度91.1%)

2) 成 果

- ① 在学生全員が参加するイベントの一つであり、学生にとって集団行動を学ぶ良い機会となった。
- ② 学友会が積極的に関わることで、学生同士の協調が図られ、クラスが一体となることができ、各競技が盛り上がった。

3) 課 題

- ① 安全には十分配慮を行い、大きな怪我はなく実施することができたが、ドアロックカバーを壊して外に出る学生がおり、体育館に多大な迷惑をおかけした。
- ② 学生・教職員が一致団結して実施したが、かなりスケジュールが遅れ、貸し切り時間間際で終えることとなった。
- ③ 競技が毎年変わり、前年の経験を改善に活かしにくい、安全な競技の実施を模索していきたい。

(3) 第20回学習成果プレゼン大会

各学科の学生が、これまでに習得した知識・技術を発表し、企業が求めるプレゼンテーションスキルを身に付ける機会とするとともに、他学科の専門分野の学習内容を聴くことにより、視野を広げ、理解する力を養うことを目的として、第20回学習成果プレゼン大会を以下のとおりの内容で開催した。

また、大会を盛り上げるため学生からポスターも募集した。保護者をはじめ関係者への公開は、現地からライブ配信を行う事で対応した。

1) 概要

- ① 内 容 : 各学科の代表者が、9分という限られた発表時間の中で、聴衆を前に力強く学習成果を発表し競い合った。
- ② 日 時 : 令和7年2月13日(木) 13:00~15:40
- ③ 場 所 : アステールプラザ中ホール(オンラインによる同時配信)
- ④ 参加者 : 在校生、学校関係者
- 配信案内 : 学生、保護者、招待者(企業、高校教員・高校生)、学園関係者、教職員
- ⑤ 発表者及び発表テーマ

発 表 者	内 容 (テーマ)
建築学科	建築的空き家解決法～地域的重要性～
土木工学科	土木施工実習における取組み
音響・映像メディア学科	「HITP RADIO」公開生放送 in アステール
I T スペシャリスト学科	待ち時間ゼロを目指した学内食券管理システム ～三年間の学びと挑戦と成果～
電気工学科	過電流継電器の動作試験
情報学科	ネットショップサイト構築 「Wide Variety」オープンに向けて
機械工学科	リハビリテーション補助器具の開発 腕の曲げ伸ばし器具の製作

シンガポール研修旅行報告	シンガポール研修の記録～学びと体験を振り返る～
--------------	-------------------------

2) 審査員

審査委員長	中国地区高等学校工業教育研究会 会長 広島県立広島工業高等学校長 神田 浩二
審査員	学校法人鶴学園 学園アドバイザー 元広島工業大学専門学校校長 坂本 眞平 広島工業大学専門学校 校長 佐藤 隆吉

3) 審査項目

審査は、以下の項目を評価して行われた。

評価分野	評価項目
1 発表主旨	目的の明確さ
2 テーマ	課題認識、仮説・検証の取組
3 資料作成	パワーポイント・映像の使い方と完成度
4 発表技術	発表態度、聞きやすさ、時間配分、興味・関心・分りやすさ
5 示 唆	まとめ、将来への言及

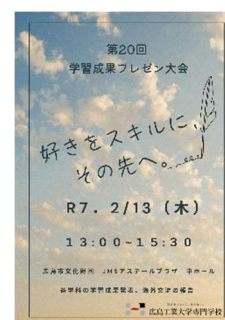
4) 審査結果

賞	内 容	学 科
最 優 秀 賞	待ち時間ゼロを目指した学内食券管理システム ～三年間の学びと挑戦と成果～	IT スペシャリスト学科
優 秀 賞	建築的空き家解決法～地域の重要性～	建築学科
審査員特別賞	過電流継電器の動作試験	電気工学科

最優秀賞は、学内食券管理システムの構築について発表した、IT スペシャリスト学科が選ばれた。プログラミングもさることながら、顧客ニーズに合わせた調理提供までの効率化等、生産管理の観点を検討されている点が高評価であった。優秀賞は建築学科が受賞した。また、審査員特別賞として、電気工学科が選ばれた。惜しくも受賞を逃した学科も趣向を凝らした専門性の高い素晴らしい発表であった。



発表者の集合写真



プレゼン大会ポスター

5) 成果と課題

各グループとも限られた時間の中で、分かりやすく魅力のあるプレゼンを行う為に創意工夫をした努力の跡が見られた。特に職業実践専門課程に認定された専門学校として、企業連携をはじめ地域との連携を行った実践的な課題への取組に関する発表が多く見られた事は大きな成果と言える。一方、アフターコロナの観点から入場制限に関しては、次年度の運営に関して検討する必要がある。

(4) ボランティア活動

1) クリーン太田川清掃

太田川河川事務所主催のクリーン太田川清掃の実施を検討したが、太田川放水路までの安全な移動経路と、放水路内の学生の動きの安全確認が難しいこともあり、本年度から実施しないこととする。

2) グリーン・パートナー事業

グリーン・パートナー事業は、「花と緑のまちづくり」を進める広島市が主催するもので、平和大通り沿いの花壇に花苗の植付けや水やりなどを実施するボランティア活動で、100m 道路の花壇の替え替えと管理を行う。

本校の担当は西区役所前の花壇で、今年も春と秋に、花壇を耕して雑草を抜き、花の植え付けと肥料を撒いた。その後、各クラスで手分けをして水やりや草抜きを行い、花壇の周辺の清掃も実施した。

近隣住民や地域への貢献として、学友会と連携して運営を行った。



春の花植え



秋の花植え

3) ボランティア駅伝前清掃

第30回全国男子駅伝「ひろしま男子駅伝」を前に、学生と教職員・約450名が参加して、駅伝コースのボランティア清掃を行った。今年も雨の心配もあったが、何とか持ち直した天気の中、学生は頑張って清掃した。集まったゴミの量は、可燃ゴミ15袋、不燃ゴミ4袋、資源ゴミ3袋の、合計22袋だった。今年のゴミも、たばこの吸い殻が最も多かったが、ペットボトルや缶も多く感じた。

ひろしま男子駅伝には、全国47都道府県から総勢470人の選手がエントリーされ、各都道府県単位でタスキをつなげていく「ふるさとリレー」は、1・4・5区を高校生が、2・6区を中学生が、3・7区を大学生・社会人が走り、各世代でタスキを繋いで激走した。



清掃風景



ゴミの仕分け後

4-3. 社会人教育への取り組み

生涯学習の観点から社会人（主には、母子寡婦、雇用能力開発機構、高等学校、専修学校及び企業等）を対象とした専門的な職業教育を展開している。

技術支援センター（過去実績）

年度		講習会名等	開催日	人数	主催者名
H26	1	（夜）広島市母子寡婦（1期）	H26. 5. 13～7. 18	20	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	（夜）広島市母子寡婦（2期）	H26. 10. 7～12. 12	10	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	3	平成 26 年度基礎教育講習会講師派遣	H26. 12. 2		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	指導者用情報処理技術者指導講座	H26. 12. 24～12. 26 H27. 2. 19, 2. 20	3	広島市教育委員会
H27	1	（夜）広島市母子寡婦	H27. 5. 8～H27. 7. 14	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 27 年度基礎教育講習会講師派遣	H27. 12. 7		（社）広島県専修学校各種学校連盟
H28	1	指導者用 Web サイト構築講座 →H27 年度に実施（H28 年度の収入）	H28. 2. 22, 24, 3. 2, 15, 23	4	広島市教育委員会
	2	測量数学の基礎を学ぶ研修会	H28. 7. 27, 7. 28		技術マネジメント研究所
	3	平成 28 年度基礎教育講習会講師派遣	H28. 12. 6		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	4	（夜）広島市母子寡婦	H29. 1. 10～3. 17	9	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	5	指導者用 Web サイト構築講座	H29. 2. 17, 21, 22, 24, 28	2	広島市教育委員会
H29	1	平成 29 年度基礎教育講習会講師派遣	H29. 12. 5		（社）広島県専修学校各種学校連盟
	2	指導者用アプリ開発講座	H29. 12. 19, 25, H30. 2. 13, 16, 20, 21	2	広島市教育委員会
H30	1	（夜）広島市母子寡婦	H30. 10. 3～H30. 12. 12	5	広島市こども未来局 こども・家庭支援課
	2	平成 30 年度基礎教育講習会講師派遣	H30. 12. 4	60	（社）広島県専修学校各種学校連盟
	3	指導者用セキュリティマネジメント講座	H31. 2. 5	2	広島市教育委員会
R2	1	指導者用アプリ開発講座	R2. 12. 24, R3. 2. 22, 24, R3. 3. 2～3	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web サイト構築講座	R3. 3. 24～25	2	広島市教育委員会
R4	1	指導者用アプリ開発講座	R5. 2. 20～22, 3. 13～16	2	広島市教育委員会
	2	指導者用 Web デザイン講座	R5. 2. 20～22, 3. 6～7	2	広島市教育委員会
R6	1	指導者用 AI プログラミング講座	R6. 12. 24～25, R7. 2. 18～19, 21	2	広島市教育委員会

4-4. 国際交流の状況

コロナ以降、昨年度に続き今年度もシンガポール海外交流を実施した。9月から10月にかけて両校の学生交流をおこなった。

(1) シンガポール海外研修

研修場所：国立シンガポール・ポリテクニク校

期 間：令和6年9月16日～9月26日（合計11日間）

引率教員：田中 卓（建築学科）

参加学生：8名

主な研修内容

月 日	午 前	午 後
9月16日（月）	広島駅集合、福岡空港出発	シンガポール チャンギ国際空港着 ウェルカムディナー
9月17日（火）	シーアクアリウム見学	セントーサビーチ
9月18日（水）	文化交流会	SP 校施設見学、クラブ体験会
9月19日（木）	シンガポール動物園見学	シンガポール動物園見学 ナイトサファリ見学
9月20日（金）	ユニバーサルスタジオ見学	ユニバーサルスタジオ見学
9月21日（土）	ホームビジット	ホームビジット
9月22日（日）	チャイナタウン見学	リトルインディア見学
9月23日（月）	CISCO 企業訪問	SMU 大学訪問
9月24日（火）	フラワードーム見学	ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ見学 マーライオン公園見学
9月25日（水）	スポーツ交流イベント	サヨナラパーティー、帰国準備 チャンギ国際空港発
9月26日（木）	福岡空港着	広島駅着



SP 校 クラブ体験会



CISCO 企業訪問



SMU 大学訪問



チャイナタウン



リトルインディア



地元食堂でランチ



フラワードーム



シンガポール動物園



ガーデنز・バイ・ザ・ベイ

(2) 国立シンガポール・ポリテクニク校「日本文化理解研修」の受入

期 間：2024年10月1日（火）～10月9日（水）（10日間）

引率教員：2名（Ms. Sylvia Larkim Liong 先生、Ms. Sally Lim 先生）

学 生：AWARD 生2名（女性2名）

一般学生15名（男性5名・女性10名）

スケジュール概要

月日	曜日	a m	p m	宿泊所
10月1日	火	10:50 広島空港着	研修センター	広島信用金庫 研修センター
10月2日	水	HITP ウェルカムランチ	シンガポール協会表敬訪問	
10月3日	木	平和公園見学	HITP 文化交流	
10月4日	金	フリータイム	広島工業大学 電子情報工学見学	
10月5日	土	宮島観光	宮島観光	
10月6日	日	ホームビジット	ホームビジット	
10月7日	月	フリータイム	なぎさ小・工大高見学	
10月8日	火	フリータイム	なぎさ中・高校見学 さよならパーティ	
10月9日	水	7:30 広島空港発		



HITP 文化交流



工大高部活体験（弓道）



さよならパーティ

(3) 参加学生数と取組み

過去5年間(令和2年度～令和6年度)

	シンガポール研修旅行 本校→シンガポール	日本理解ツアー シンガポール→本校	海外インターンシップ 本校→シンガポール	短期留学 本校→SP校	ベトナム研修旅行 本校→ベトナム
令和 2 年度	HITP 9名＋ 英語受講学生	SP 12名	オンラインによる文化交流		
令和 3 年度	HITP 12名＋ 英語受講学生	SP 12名	オンラインによる文化交流		
令和 4 年度	30周年記念誌制作	制作に尽力いただいた卒業生 ・HITP 卒業生（現専門学校教員）門田 香 先生 ・SP 卒業生 李詩敏 LEE SZE BIM （リー・ツー・ビン）			
令和 5 年度	調印式 HITP 8名＋ 引率教員1名	SP 6名 引率1名	0	0	0
令和 6 年度	HITP 7名 引率教員1名	SP 15名 引率2名	0	0	0

4－5. クラブ活動

(1) 軟式野球部

「広島県専門学校野球連盟」に加盟しており、春・夏・秋の各大会での優勝と全国大会出場を目標に、練習を行っている。モットーは「飽くなき挑戦」。常に目標を持ち、諦めることなく挑戦し続ける姿勢を、野球に限らず資格取得や技術・知識の習得に活かすべく活動している。

〔令和6年度の公式大会結果〕

春季大会：準優勝

中国地区大会（全国大会予選）：1回戦敗退

秋季大会：決勝進出（雨天のため大会中止）



顧問：小笠原 和教・林 哲也

4－6. 防犯講習会

防犯意識の向上を図ることを目的として、1年生女子学生を対象として防犯講習会を開催した。講習にあたり、広島県警西警察署生活安全課から講師をお招きし、110番の通報や広島県警安全安心アプリの利用など体験を交えた講習会を行った。また、チューターから男子学生を対象に軽犯罪法に関する事例紹介を行った

1) 防犯講習会概要

- ① 内 容 : 女性を対象とした犯罪から身を守る為の防犯講習会
- ② 日 時 : 令和6年5月22日（水）13:10～14:10
- ③ 場 所 : プレゼンテーションルームA
- ④ 参加者 : 女子学生 1年生

第5章 進路指導

5-1 令和6年度就職状況（令和7年3月末現在）

（1）県内の就職内定状況

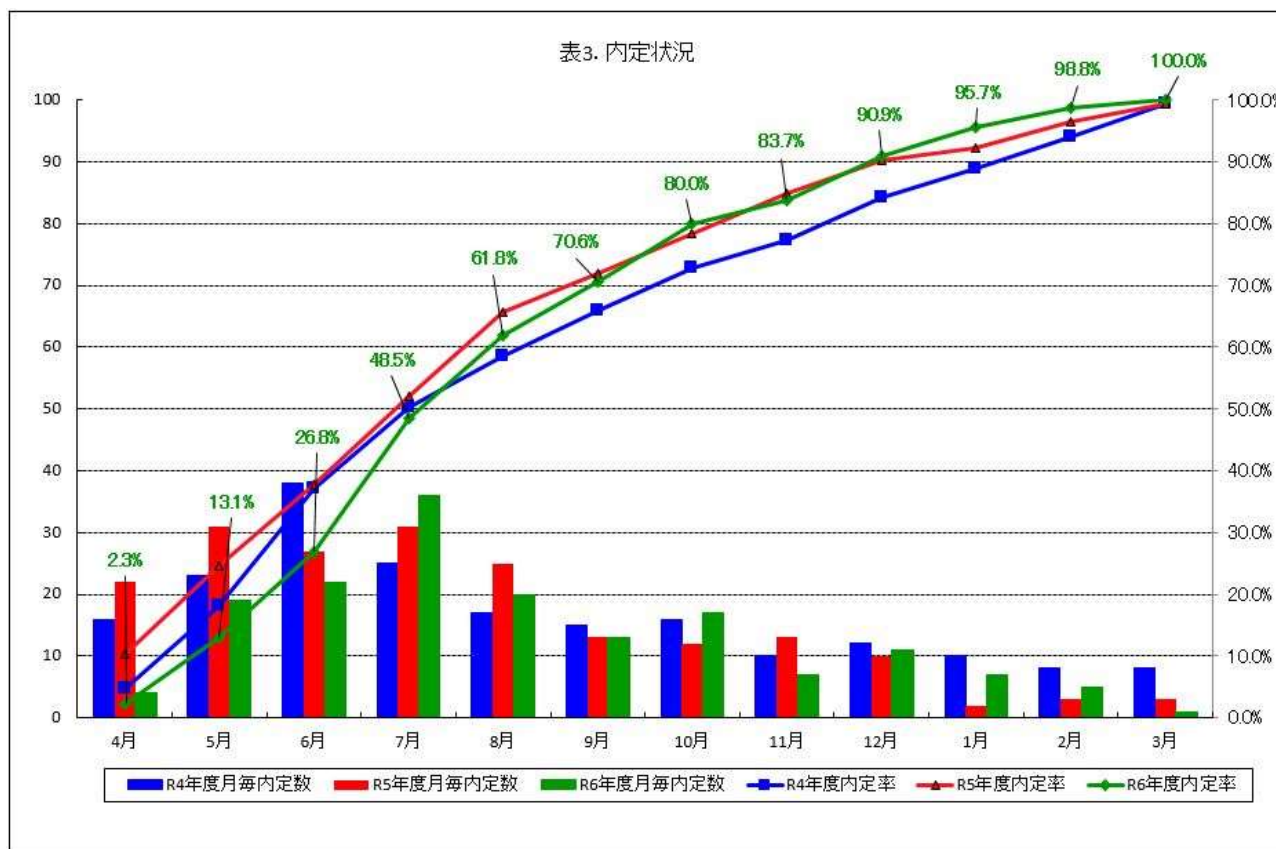
広島県内の専修学校就職内定率は、平成30年度が96.7%、令和元年度が95.0%、令和2年度が93.1%、令和3年度が92.9%、令和4年度が95.3%、令和5年度が96.2%、令和6年度は95.6%となり前年度比0.6%減と3年ぶりに低下した。また、大学は96.5%（前年同期比0.1%低下）と4年ぶりの低下がみられた。短期大学では94.4%（0.1%低下）と3年連続の低下となりかなり厳しい状況であったようである。

（2）本校就職内定率の推移

就職内定率の月別推移は以下のとおりである。今年度(令和6年度)の内定率は100%となり、就職希望者162名全員が内定を獲得した。過去3期分の実績を見ても、未内定者は1名ないし2名程度であり、高い内定率を依然として確保しつつある中での現れと捉えることができる。

企業側での人材確保に対する姿勢が顕著で、特に本校の様に技術職育成を目的とした教育機関の学生をターゲットにした人材獲得は、少子化の影響もあり企業構造の維持・発展に欠かすことできない分野となっている。新卒およびキャリア（中途）も併せて、採用については今後もしばらくは企業間での獲得競争が続く傾向にあると予想され、就職戦線も学生にとっては有利な展開が期待できる。

令和4年度～令和6年度内定状況



（3）求人状況

今年度(令和6年度)の本校学生を対象とする求人企業数1,109社、求人数は2,325人となっており、前年度に比べて企業数で158社、求人数で303人の減少となった。これは令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受けて、それまで企業が抑制していた求人活動を令和6年3月卒の新卒採用に向けて5類に移

行する前の令和5年3月～4月間に一時的に急増したことが要因となっている。それぞれ5月以降の求人数で比較すると令和5年度が582人、今年度(令和6年度)が590人とほぼ同等の人数で推移しており、安定した求人状況となっている。詳細は以下のとおりである。

令和4年度～令和6年度求人状況

(1) 令和4年度～令和6年度 求人数状況累計 (単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4年度 求人数	累積数	1794	1935	2044	2147	2198	2246	2272	2287	2306	2319	2321	2321
	(月別数)	(1794)	(141)	(109)	(103)	(51)	(48)	(26)	(15)	(19)	(13)	(2)	(0)
R5年度 求人数	累積数	2046	2168	2341	2416	2475	2531	2590	2606	2617	2625	2628	2628
	(月別数)	(2046)	(122)	(173)	(75)	(59)	(56)	(59)	(16)	(11)	(8)	(3)	(0)
R6年度 求人数	累積数	1735	1882	2022	2146	2212	2254	2295	2298	2315	2325	2325	2325
	(月別数)	(1735)	(147)	(140)	(124)	(66)	(42)	(41)	(3)	(17)	(10)	(0)	(0)

(2) 令和4年度～令和6年度 求人企業数状況累計 (単位：社)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R4年度 企業数	累積数	824	897	958	1009	1037	1059	1076	1086	1097	1104	1105	1105
	(月別数)	(824)	(73)	(61)	(51)	(28)	(22)	(17)	(10)	(11)	(7)	(1)	(0)
R5年度 企業数	累積数	954	1030	1117	1156	1193	1217	1248	1256	1261	1265	1267	1267
	(月別数)	(954)	(76)	(87)	(39)	(37)	(24)	(31)	(8)	(5)	(4)	(2)	(0)
R6年度 企業数	累積数	820	897	960	1022	1049	1074	1093	1096	1105	1109	1109	1109
	(月別数)	(820)	(77)	(63)	(62)	(27)	(25)	(19)	(3)	(9)	(4)	(0)	(0)

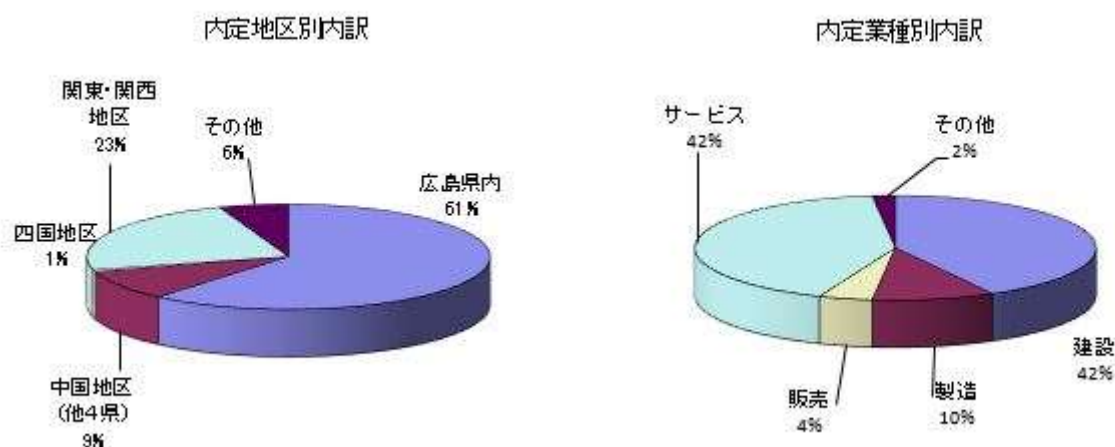
令和6年度学科別求人倍率・就職率および進路状況

令和6年度 進路状況 (R7年3月31日現在) () 内女子数

	建築	建築士専攻科	土木	電気	機械	ITスペシャリスト	情報	音響・映像 メディア	不問	R7年3月31日現在
求人数	485		363	388	379	298		66	346	2325
卒業生	63 (12)	30 (4)	16 (0)	28 (1)	15 (0)	24 (0)	19 (0)	22 (11)		217 (28)
就職希望者	30 (3)	27 (4)	14 (0)	22 (0)	13 (0)	20 (0)	16 (0)	20 (10)		162 (17)
求人倍率	8.51		25.93	17.64	29.15	8.28		3.30		14.35
就職者数	30 (3)	27 (4)	14 (0)	22 (0)	13 (0)	20 (0)	16 (0)	20 (10)		162 (17)
学科別就職率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
(男子) %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
(女子) %	100.0%	100.0%						100.0%		100.0%
進学者数	29 (8)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4	(0)	0 (0)		37 (8)

地区別の内定内訳は、広島県内 61%、広島県を除く中国地区 9%、四国地方 1%、関西・関東地区 23%、その他 6%となっている。

業種別の内定内訳は、建設関係 42%、製造 10%、販売 4%、サービス関係 42%、その他 2%となっている。



(4) まとめ

採用選考手続きにおいて、近年はオンラインを併用した説明会および選考が増加傾向にあり遠隔地の企業であっても学生の動きが対応しやすくなっていることに加え、求人倍率が高水準で維持されており企業選定が活発となって高い内定率の確保に至っている。

本校の内定率が広島労働局の公表している就職内定率の専修学校部門を例年上回っていることを見ると、技術職を求める企業の採用意欲が高いといえるが、学生がより適切な職業選択ができる環境を提供できるように今後も支援を継続していきたい。

5-2 進学状況

(1) 大学編入学の状況

編入学先	人数	所属学科
広島工業大学 工学部 機械システム工学科	2名	機械工学科
広島工業大学 工学部 電気システム工学科	1名	電気工学科
広島工業大学 工学部 環境土木工学科	1名	土木工学科
広島工業大学 情報学部 情報工学科	1名	ITスペシャリスト学科
	1名	情報学科
広島工業大学 情報学部 情報コミュニケーション学科	1名	ITスペシャリスト学科
合 計	7名	

(2) 大学編入学のスケジュール

実施日	内容
4月4日(木)	1年生向け編入学説明会 12:40～
7月5日(金)	学内推薦一次面接試験 受験者7人
9月9日(月) ～9月27日(金)	単位認定事前審査資料提出 受験者7名

11月15日(金)	学内推薦二次面接試験 受験者7人
11月25日(土) ～12月7日(木)	インターネット出願 受験者7名
12月14日(土)	広島工業大学編入学試験(学園内7名)
12月21日(土)	合格発表 合格者7人
2月19日(月)	情報交換会 在学生7人、編入学OB 7人

第6章 職業実践専門課程の認定に係る取り組み

6-1 職業実践専門課程の認定状況

『職業実践専門課程』とは

企業等との密接な連携により、実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいる専門課程について文部科学大臣が認定するものである。

平成26年3月31日、初めての認定が行われ、当初は全国で472校 1,373学科の「職業実践専門課程」が誕生した。広島県では16校40学科が認定され、本校では7学科すべてが認定を受けた。

(令和7年3月24日現在 文部科学省発表)

認定年度	認定学校数	認定学科数
H25 年度	472	1,373
H26 年度	295	677
H27 年度	272	501
H28 年度	150	240
H29 年度	94	152
H30 年度	98	139
R1 年度	104	154
R2 年度	86	131
R3 年度	62	88
R4 年度	66	87
R5 年度	65	95
R6 年度	53	77
合計	1,123 校(42.0%)	3,212 学科(44.6%)

※合計欄の()内の数字は、全専門学校数(2,676校)、修業年限2年以上の全学科数(7,202学科)に占める割合。なお、各年度の学校数、学科数は、文部科学省の報告によるもので、名称変更、取消等により単純合計となっていない。

【分野別】

分野	工業	農業	医療	衛生	教育 社会福祉	商業 実務	服飾 家政	文化 教養	計
合計	766 (58.1%)	16 (11.3%)	623 (40.07)	331 (36.9%)	258 (50.6%)	510 (40.5%)	122 (31.9%)	586 (28.9%)	3,212

■認定要件

- ① 業年限が2年以上
- ② 総授業時間数が1,700時間(総単位数62単位)以上
- ③ 企業と連携し教育課程の検討と改善を行うこと
- ④ 企業と連携し演習・実習等を行うこと
- ⑤ 企業と連携し教員の実務研修を行うこと
- ⑥ 企業と連携し学校関係者評価および情報公開を行うこと

6-2 教育課程編成委員会

(1) 第1回教育課程編成委員会

部会	実施日	連携企業等	役職	氏名
建築部会	令和6年 6月28日	株式会社タナカ住建	代表取締役	田 中 健太郎
		広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科	教授	平 田 欽 也
電気部会	令和6年 6月26日	一般財団法人 中国電気保安協会	総合技術センタ ー 副部長	三 宅 功
		株式会社電力サポート中国	設備サービス 部長	松 永 和 幸
		満長建設工業株式会社	工務部 部長	森 田 忠 光
機械部会	令和6年 6月19日	テンパール工業株式会社	技術本部工場総 括部長	濱 井 保 徳
		広島工業大学 工学部 機械システム工学科	教授	鈴 村 文 寛
土木部会	令和6年 6月4日	広島工業大学 工学部 環境土木工学科	准教授	大 東 延 幸
		OGI infotec 株式会社	代表取締役	大 木 達 則
情報部会	令和6年 6月12日	広島県情報産業協会	常務理事	松 尾 達 憲
		株式会社リマック	代表取締役社長	田 淵 信 夫
		株式会社ECS	代表取締役社長	民 野 昌 幸
音響・映像 部会	令和6年 7月10日	公益社団法人日本照明家協会 中国支部	事務局長	吉 川 滋
		株式会社 SHINOMOTO-SE	代表取締役社長	山 田 雅 宏

(2) 第2回教育課程編成委員会

部会	実施日	連携企業等	役職	氏名
建築部会	令和7年 2月19日	株式会社タナカ住建	代表取締役	田 中 健太郎
		広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科	教授	平 田 欽 也
電気部会	令和7年 2月12日	一般財団法人 中国電気保安協会	総合技術センタ ー 副部長	三 宅 功
		株式会社電力サポート中国	設備サービス 部長	松 永 和 幸
		満長建設工業株式会社	工務部 部長	森 田 忠 光
機械部会	令和7年 2月18日	テンパール工業株式会社	技術本部工場総 括部長	濱 井 保 徳
		広島工業大学工学部機械システム工学科	教授	鈴 村 文 寛
土木部会	令和7年 2月4日	広島工業大学工学部環境土木工学科	准教授	大 東 延 幸
		OGI infotec 株式会社	代表取締役	大 木 達 則
情報部会	令和7年 2月26日	広島県情報産業協会	常務理事	松 尾 達 憲
		株式会社リマック	代表取締役社長	田 淵 信 夫
		株式会社ECS	代表取締役社長	民 野 昌 幸
音響・映像 部会	令和7年 2月17日	公益社団法人日本照明家協会 中国支部	事務局長	吉 川 滋
		株式会社 SHINOMOTO-SE	代表取締役社長	山 田 雅 宏

6-3 学校関係者評価委員会

(1) 第1回学校関係者評価委員会

日時：令和6年9月4日（水）15:00～17:00

場所：広島工業大学専門学校 プレゼンテーションルーム

委員

高等学校	学校法人鶴学園 広島工業大学高等学校	校 長	山口 健治
業界団体	一般社団法人広島県情報産業協会	常務理事	松尾 達憲
業界団体	公益財団法人 日本照明家協会中国支部	事務局長	吉川 滋
企業	テンパール工業株式会社	技術本部工場総括部長	濱井 保徳
企業地域	河井建設工業株式会社	取締役社長代行	宮内 秀実
卒業生	広島工業大学専門学校同窓会	会 長	大畠 晋也

(2) 第2回学校関係者評価委員会

日時：令和7年3月14日（金）15:00～17:00

場所：広島工業大学専門学校 プレゼンテーションルーム

委員

高等学校	学校法人鶴学園 広島工業大学高等学校	校 長	山口 健治
業界団体	一般社団法人広島県情報産業協会	常務理事	松尾 達憲
業界団体	公益財団法人 日本照明家協会中国支部	事務局長	吉川 滋
企業	テンパール工業株式会社	技術本部工場総括部長	濱井 保徳
企業地域	河井建設工業株式会社	取締役社長代行	宮内 秀実
卒業生	広島工業大学専門学校同窓会	会 長	大畠 晋也

6-4 企業連携授業

(1) 企業連携授業

各学科では企業と連携し実践的な授業の展開に努めた。

学科名	学年	授業科目	主な内容	連携授業
建築学科	1 年	建築製図Ⅰ 建築製図Ⅱ	実習：設計製図の基本を学び、木造住宅の設計技法を習得	株式会社アトリエドリーム
機械工学科	2 年	実践課題ゼミナールⅠ 実践課題ゼミナールⅡ	実習：企業等から与えられた要望に対しアイデアの起案、設計から加工まで課題解決能力の習得	共立工業株式会社 社会福祉法人三篠会
IT スペシャリスト学科	3 年	システム開発実践	実習：クラウド型システム開発ツールである「Salesforce」を使ったシステム開発を実施	株式会社ECS
IT スペシャリスト学科	2 年	セキュリティ演習	実習：攻撃対象となる実習用サーバを構築し、各種サーバ攻撃やセキュリティリスクに対する対処方法を学ぶ。	株式会社ネットスクエア
IT スペシャリスト学科・情報学科	2 年	ビジネスプランニング	講義：ICTを活用したビジネスアイデアを考え、ビジネスモデルとしてまとめ発表を行う	HiBiS
情報学科	2 年	総合実践	講義・演習：ネットショップサイトの構築についてシステム開発の進め方や企画書の作成法を学ぶ	株式会社リマック
電気工学科	1 年	送配電工学	講義：電力ケーブルⅠ・Ⅱ 電力ケーブルの基礎知識および実務内容の習得	満長建設工業(株)
	1 年	電気工事実習Ⅱ	実習：光ケーブルの接続技術の習得	下花建設工業(株)
			実習：電気設備点検と安全模擬体験	(一財)中国電気保安協会
	2 年	電気工事実習Ⅳ	実習：安全体感実習	(株)中電工
土木工学科	2 年	土木CADⅠ 土木CADⅡ	実習：CAD知識の習得	OGI infotec 株式会社
	2 年	応用測量Ⅲ	実習：ドローンに関する操縦技術取得	OGI infotec 株式会社
	2 年	安全運航管理	実習：ドローンの安全運航管理を学習	ロイヤルパワーアップスクール広島
	1 年	UAV 基礎	講義：ドローンに関する基礎知識の習得 講義：ドローンに関する資格取得	ドローン航空学校
	2 年	UAV 操縦法	実習：ドローンに関する操縦技術取得	ドローン航空学校
	2 年	土木総合施工実習Ⅱ	講義：現場実務学	住吉工業株式会社
音響・映像メディア学科	1 年 2 年	コンサート実習Ⅰ コンサート実習Ⅱ	実習：授業内容のまとめとして実践的なコンサート実習（音響・映像・照明・制作）を実施	合同会社Lamp 株式会社Moveup 有限会社ワークス

6-5 研修

(1) 教職員夏季研修会

例年、学生の夏季休暇期間を利用し、教員および職員が一堂に会し研修会を行っている。また、職業実践専門課程認定から 11 年目を迎え、より一層の教育の質保証が求められており、学科・部単位での研修会は、対面もしくはオンラインによる形式で随時実施した。

(2) 教員の専門分野に関する研修

対象	研 修 名 称	主 催	研修時期	研修目的・概要
建築 教員	JIA カフェタイム	日本建築家協会中国支部	令和 6 年 4 月 18 日	【研修目的・概要】カジワラヨウスケ建築設計の梶原要介氏による近作発表がなされた。住環境の向上法や仕上げ材のメンテナンス、建物の構造バランス等について意見交換がなされた。 【講師】梶原要介氏 【対象科目】授業全般
建築 教員	専門学校教育活動報告会	全国専門学校建築教育連絡協議会	令和 6 年 6 月 8 日	【研修目的・概要】全国専門学校建築教育連絡協議会が浅野工学専門学校で開催された。建築系の専門学校 4 校から活動報告がなされ、本校も取り組みを発表した。 【発表校】東海工業専門学校金山校、日本工学院八王子専門学校、専門学校東京テクニカルカレッジ、広島工業大学専門学校 【対象科目】授業全般
土木 教員	中国地区測量技術講演会	測量の日実行委員会	令和 6 年 6 月 24 日	【研修目的・概要】測量に関する知識向上 【講師】広島大学 作野教授、中電技術コンサル 河井様他 【対象科目】測量科目全般・建設系 DX
土木 教員	アスファルト合材に関する研修	大林道路株式会社	令和 6 年 6 月 25 日	【研修目的・概要】アスファルト合材について品質管理手法および施工方法の理解を深める研修 【講師】大林道路株式会社 【対象科目】土木施工関連
土木 教員	一等修了審査員研修・試験	日本海事協会	令和 6 年 7 月	【研修目的・概要】一等修了審査員資格取得 【講師】日本海事協会 【対象科目】UAV 科目全般
土木 教員	ドローン資格取得	日本海事協会	令和 6 年 7 月 29 日	【研修目的・概要】一等無人航空機操縦士学科試験取得 【講師】オンライン試験 【対象科目】UAV 科目全般
土木 教員	ドローン資格更新講習会	ファームスカイテクノロジーズ	令和 6 年 7 月 31 日	【研修目的・概要】農業用ドローン資格更新講習会 【講師】ファームスカイテクノロジーズ 國米氏 【対象科目】UAV 科目全般
土木 教員	ピオトープ管理士セミナー	日本生態系協会	令和 6 年 8 月	【研修目的・概要】ピオトープ管理士に必要な知識を習得 【講師】日本生態系協会 【対象科目】ピオトープ全般
機械 教員	パテントコンテスト/発明体験ワークショップ	文科省・特許庁・日本弁理士会・INPIT	令和 6 年 8 月 5 日	【研修目的・概要】企業連携授業で生まれたアイデアを具現化し特許等を通じて外部へ発信する手法を得ることを目的として、ワークショップに参加した。課題の発見、発想を具現的にしていく調査、そしてパテントコンテスト応募までの流れを体験するワークショップを通し、特許取得までの流れを理解し、今後の授業へ反映させる。 【講師】山口大学知的財産センター副センター長 准教授 生田 容景 山口大学知的財産センター 准教授 陣内 秀樹 【対象科目】実践課題ゼミナール
情報 教員	AWS Academy フォーラム	Amazon Web Japan	令和 6 年 8 月 19 日	【研修目的】現代の Web サービスはインターネットを利用したクラウド型で提供されており、今後もニーズが高まると予想され、クラウド技術を持ったエンジニア育成のためのカリキュラム導入を検討する。 【概要】AWS クラウドの活用状況と今後のクラウドについて／AWS Academy プログラムの紹介 【講師】Amazon Web Japan 平賀博司氏 【対象科目】クラウドコンピューティング、ネットワーク構築Ⅰ・Ⅱ
情報 教員	CISCO インストラクターフォーラム	シスコジャパン合同会社	令和 6 年 8 月 20 日	【研修目的】Cisco と連携したカリキュラムを開講している専門学校の事例を知り、更新された試験制度の内容およびカリキュラム改定の参考とする。 【概要】・Enterprise Networking, Security and Automation インストラクタートレーニング・情報経営イノベーション専門職大学および日本電子専門学校での Cisco Academy プログラムの導入事例・Cisco 認定試験について 【講師】Cisco Japan 岡村 恵 氏 【対象科目】授業全般 学校業務全般

電気 教員	電気主任技術者 技術研修会	(公社) 日本電気技術者協会	令和6年 8月21日	【研修目的・概要】電力関連の最近の動向を習得し施設管理等の授業に活用、最近の電気保安行政、電気事故概要、新技術事例 他 【講師】経済産業省中国四国産業保安監督部 一般財団法人 中国電気保安協会 製品評価技術基盤機構 (NITE) 【対象科目】授業全般
土木 教員	国土交通大学校視察および 情報交換	国土交通大学校	令和6年 8月21日	【研修目的・概要】測量に関する官庁や業界の動向についての理解を深めた。 【講師】国土交通大学校 田中大和・中田昌吾 【対象科目】測量関連
土木 教員	ドローン資格取得講座	ドローン教習所	令和6年 8月24日	【研修目的・概要】ドローン資格取得(応用技能 目視外) 【講師】ドローン教習所DAS 大阪校 崎 【対象科目】ドローン関連
建築 教員	全国専門学校建築教育連絡 協議会 秋季研修会	全国専門学校建築教育連絡協 議会	令和5年 11月11日	【研修目的・概要】京都府にある聴竹居と大山崎山荘美術館を訪れ、 秋季研修会として見学会が実施された。建築的知見や歴史的背景の説明 を担当者から受ける。 【講師】聴竹居説明者、大山崎山荘美術館説明者 【対象科目】授業全般
音映 教員	テールゲートリフター研修	全国舞台テレビ照明事業協同 組合	令和6年 8月28日	【研修目的・概要】機材運搬車を使用して必要な安全教育の一環 【講師】全国舞台テレビ照明事業協同組合 専務理事・事務局長 寺田 航 【対象科目】実習科目全般
土木 教員	地理情報システム学会	GIS 学会	令和6年 10月6日	【研修目的・概要】GIS を利用した地図作成及びグループディスカッ ション 【講師】地理情報システム学会 川瀬支部長 【対象科目】測量関係
電気 教員	消防設備士講習	(一財)広島県消防設備協会	令和6年 11月1日	【研修目的・概要】消防関係法令、消防設備等の工事、点検、整備方 法、消防設備士は消防法により5年以内に受講が義務付けられている 【講師】(一般財団法人) 日本開催報知器工業会 【対象科目】授業全般
建築 教員	全国専門学校建築教育連絡 協議会 秋季研修会	全国専門学校建築教育連絡協 議会	令和6年 11月9日	【研修目的・概要】京都府にある聴竹居と大山崎山荘美術館を訪れ、 秋季研修会として見学会が実施された。建築的知見や歴史的背景の説明 を担当者から受ける。 【講師】聴竹居説明者、大山崎山荘美術館説明者 【対象科目】授業全般
機械 教員	広島県AI・IoT・ロボティクス 活用研究会	広島県立総合技術研究所	令和6年 12月25日	【研修目的・概要】産業用ロボットやAI、IoTによる生産活動の 高機能化を実現し、県内企業の生産性向上を図るために、産業用ロボ ット、AI・IoT技術および生産システムに関する最新技術の紹介 や情報提供等を通し、技術への理解を深めた。 【講師】大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 野田 哲男 高木デルタ化工株式会社 製造部 係長 向井 司 【対象科目】ロボット工学 精密加工学 実践課題ゼミナール
土木 教員	ドローン検定 公認指導員 研修	ドローン検定	令和6年 12月27日	【研修目的・概要】公認指導員の技術向上研修 【講師】ドローン検定 【対象科目】UAV 関連科目
建築 教員	ジェルコリフォームコンテ スト	日本住宅リフォーム産業協会	令和7年 1月29日	【研修目的・概要】全国のリフォーム会社から応募されたリフォーム 物件を審査し、コンテスト形式で発表が行われる。本校が掲げたHITP 賞の発表も行う 【講師】日本住宅リフォーム産業協会 【対象科目】授業全般
音映 教員	舞台技術研修会	岡山県公立文化施設協議会	令和7年 2月18日	【研修目的・概要】舞台(音響・照明)装置を正しく安全に取扱う事 を目的に、グランドピアノの移動方法、レーザー光線の取扱いについ ての講習 【講師】岡山県公立文化施設協議会 【対象科目】実習科目全般

(3) 教員の指導力の修得・向上のための研修

対象	研修名称	主催	研修時期	研修目的・概要
教員	先進校活動視察	広島工業大学専門学校	令和6年 7月30日 7月31日	【研修目的・概要】全国の専門学校の中でも特に先進的な取り組みがなされている2校を訪問し、視察を行う。企業と連携し課題研究を行う様子を見学する。基礎学力の低い学生の指導プログラムの説明も受ける。 【視察校】日本工学院八王子専門学校、中央工学校
教員	夏季教職員研修会 「学生とのより良いコミュニケーションの在り方について」	広島工業大学専門学校	令和6年 8月22日	【研修目的・概要】アフターコロナの時代、対面機会の急増による学生のコミュニケーションが問題視されている。教職員として学生とのより良いコミュニケーションはどうあるべきか、講演を通し理解を深め、適切な学生指導の支援につなげる。 【講師】元広島国際大学 教授 久次 弘子 【対象科目】授業全般 生き方講座
教員	令和6年度広島県専修学校各種学校連盟 教職員研修会 「学生のやる気を引き出す言葉の力 ～ペックブートーク～」 「学生に向き合うための感情のコントロール ～アンガーマネジメント～」	広島県専修学校各種学校連盟	令和6年 11月6日 11月20日	【研修目的・概要】コミュニケーションを取る際の会話一つで学生との関係も大きく変化することがある。PEP TALKは、『激励演説・応援演説』を意味し、言葉の力で、最高のパフォーマンスを引き出す技術である。一方で、教員自身の感情をコントロールするアンガーマネジメントも相手の意欲・やる気を大きく変化させる要因の一つとなる。研修を通し学んだ知識・技術を今後の学生指導へ反映させる。 【講師】K・maid 代表 松永 佳世子 【対象科目】授業全般 生き方講座
教員	令和6年度文部科学省教育研修活動費補助事業「管理者研修会」	TCE 財団・全国専修学校各種学校総連合会・全国専門学校協会	令和6年 12月18日	【研修目的・概要】学校教育法の改正をはじめ、第三者評価に係る内容まで、専修学校に係る最近の動向について、情報調査・共有を行った。 【講師】文部科学省総合教育政策局専修学校教育推進室室長 米原 泰祐 全国専修学校各種学校総連合会 常任理事 関口 正雄 【対象科目】学校業務全般
教員	筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 「専門学校における発達障害支援とは」	筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局	令和7年 1月16日	【研修目的・概要】専門学校における発達障害支援について、調査研究により得られた知見、実際の専門学校における学生支援の実態や支援ツールの活用について情報を共有し、本校における発達障害支援へつなげる。 【講師】お茶の水女子大学基幹研究院 助教 齊藤 彩 日本工学院八王子専門学校 照井 裕子 筑波大学人間系 准教授 佐々木 銀河 【対象科目】学校業務全般
教員	情報セキュリティ研修(オンライン)	鶴学園	令和7年 2月	【研修目的・概要】組織(学校)における情報セキュリティの重要性と仕組みなどを十分理解し、日常業務などにおいても常に実践できるようにする 【講師】株式会社ネットスクエア 志藤 公紀 【対象科目】学校業務全般 生き方講座

編集：広島工業大学専門学校 教育部
発行日：2025年7月1日
発行人：校長 佐藤 隆吉
住所：〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1
TEL：082-295-5111
FAX：082-293-8220
URL：<https://www.hitp.ac.jp>